

9999

「IR活動の実態調査」

調査ご協力をお願い

拝啓 時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。
さて、一般社団法人 日本IR協議会は、例年ご協力いただいております「企業のIR活動の実態」に関するアンケート調査を、本年も実施いたします。

本アンケートはわが国で実施されるIRに関する最大規模の調査です。調査は今年で29回目を迎え、調査結果は、上場企業のIR活動の推進や改善に活用されるだけでなく、日本のIRの実態把握に欠かせない調査として、資本市場の法令・制度議論や学術研究などにも活用されています。

今回は、コーポレートガバナンス・コードの再改訂への対応や東京証券取引所の市場区分見直しへの対応などに焦点を当てます。なお調査結果は、主要項目を公表するとともに、ご回答をいただいた全ての企業様には詳細な報告書をお送り致しますので、今後のIR活動にご利用頂けましたら幸いです。

データは統計的に処理し、個別企業名や回答内容が公表されることはありません。なお、調査の実施は日本経済新聞社グループの総合調査会社である(株)日経リサーチが担当いたします。ご多忙のところ恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

敬具

2022年3月

一般社団法人 日本IR協議会

※日本IR協議会は、IRの普及や質の向上を目標に活動するわが国唯一の民間非営利団体です。1993年に産業界中心に設立されました。私たちは、調査・研究やセミナー・講座、表彰制度を通じて、企業と市場とを結ぶIRオフィサーのレベルアップを目指し、活動しています。

【調査について】

- ご回答は、**企業のIR活動を担当されている管理職の方** にお願致します。
- 回答可能な質問だけご回答していただく結構でございます。
- ご回答いただいた担当者の方には、**調査結果報告書** をお送り致します。
(日本IR協議会の会員企業様には、担当者1の方宛にお送り致します)
- アンケート結果は数字に置き換え、統計処理致しますので、ご回答内容やお名前を公開することは絶対にございませぬ。また、ご記入いただきました個人情報については、ご回答内容についてのお問い合わせ、報告書の送付および次回調査票の送付に使用させていただきます。また、ご回答いただいた方には後日、日本IR協議会主催のセミナー等のご案内をさせていただきます場合がございます。
- 案内の送付に同意されない場合は、当表紙のご所属情報の下：「案内状送付に同意しない」を選択して下さい。**
- 本調査に関するお問い合わせやご不明な点等がございましたら、調査実施機関の下記問合せ先までご連絡下さい。

【お問い合わせ先】

日本経済新聞社グループの総合調査会社



12390037(12)

日経リサーチは、一般財団法人日本情報経済社会推進協会より個人情報を適切に取り扱っている事業者としての認定を受けプライバシーマークを使用しています。

株式会社日経リサーチ

〒101-0047 東京都千代田区内神田2-2-1 鎌倉河岸ビル
コンテンツ事業本部編集企画部
担当：矢田、古河、小林
TEL:03-5296-5198 FAX:03-5296-5100
E-mail:ir-jittai@nikkei-r.co.jp
お問い合わせ受付時間：平日10:00～18:00

回答締め切り **2022年4月8日(金)**

■ ご所属情報（ご回答内容についてのお問い合わせおよび報告書の送付先情報）

貴社名			
所属部署		役職	
お名前	様		
TEL		e-mail	
郵便番号		住所	
備考欄			

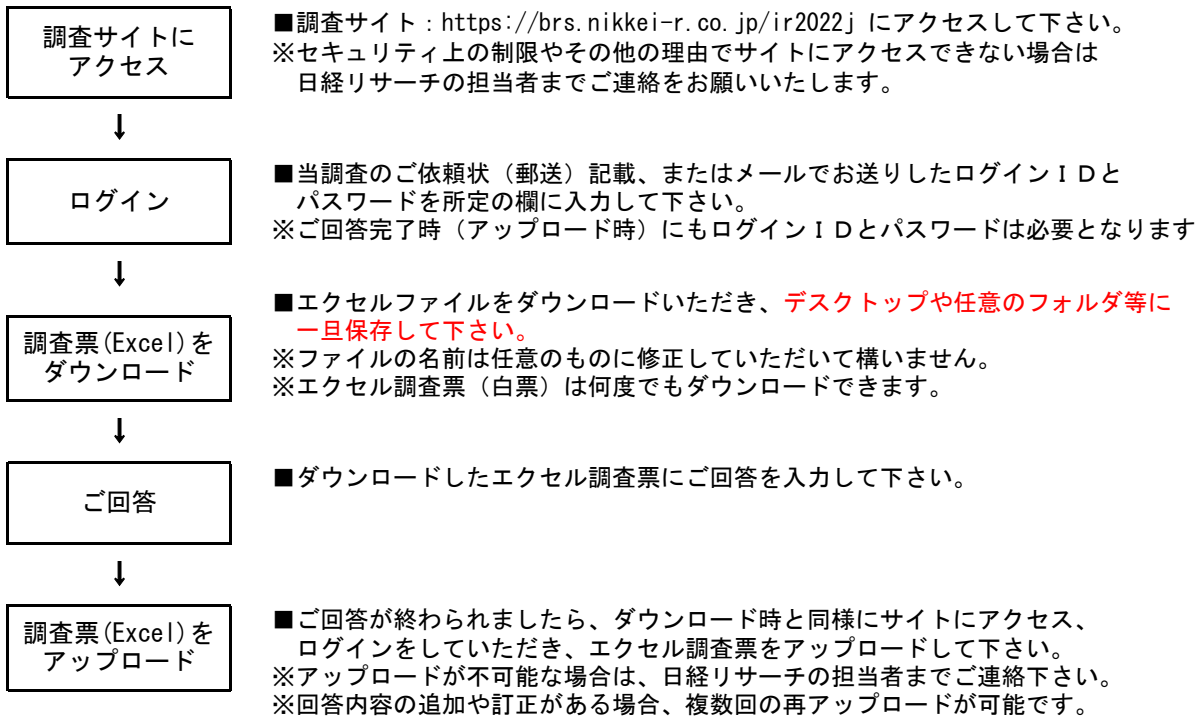
- 日本IR協議会主催のセミナー等の「案内状送付に同意しない」方はこちらに「1」を選択して下さい ⇒ (同意される方は空白のまま構いません)

ご記入いただきました調査票ファイルは、下記URLサイトへのアップロードをお願い致します。

調査票ファイルアップロードサイト：<https://brs.nikkei-r.co.jp/ir2022j>

1

【ご回答の手順】



【ご回答上の注意事項】

- 1) 調査票記載の「クリーム色」の網掛け部分に、回答番号や○の選択、または文字等のご入力をお願いいたします。
- 2) 回答済みファイルは、**Excel2007形式(拡張子xlsx)にてアップロード**をお願いいたします。
- 3) 回答済みファイルは**パスワードを設定せず、アップロード**をお願いいたします。
(パスワードを設定された状態でアップロードされるとデータが読み取れません)
- 4) ダウンロードされる調査票（エクセル）にはシート保護を設定しております。
正しくデータを取得するため、シートの保護解除は行わないで下さい。
- 5) 設問についてのQ & Aは調査票ダウンロードページに掲載しております。（随時更新）
- 6) ご回答部署が複数にまたがる場合、貴社内でご回答を集約後にアップロードをお願いいたします。
- 7) 選択肢の一部に自由回答がございますが、質問の趣旨に沿って具体的な内容をお書き下さい。

【目次】（設問またはタイトルをクリックすると該当シートへ飛ぶことができます）

シート	設問	タイトル
1章	Q1-Q5	IR活動の組織・体制について（回答必須設問:Q1）
2章	Q6-Q9	スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コード を意識した取り組み及び株主総会について
3章	Q10-Q14	非財務情報開示、ESG投資への対応
4章	Q15-Q16	オンラインや電子媒体を利用したIR活動について
5章	Q17	IR活動の効果測定について
6章	Q18	東京証券取引所の市場区分見直しへの対応について
7章	Q19-Q23	資本政策・非財務資本・事業ポートフォリオマネジメントについて
8章	Q24	IR支援会社の利用について
9章	Q25-Q27	日本IR協議会について
10章	F1-F5	貴社のプロフィールについて

IR活動の組織・体制について

Q 1. 貴社ではIR活動を実施していますか。

(1つの番号を選択)

- | |
|--------------------------|
| 1. 実施している |
| 2. 実施を検討している (→Q 2 5-①へ) |
| 3. 実施していない (→Q 2 5-①へ) |

選択してください

★Q 1は必ずご回答ください★

(Q 1で「1.実施している」とお答えの方へ)

Q 2-①. 貴社において主にIR業務を担当するのは、どのような組織や人材ですか。

(1つの番号を選択)

- | |
|---|
| 1. 独立した専任部門が担当している |
| 2. 独立した専任部門はないが、IR専任者を置いている |
| 3. 独立した専任部門やIR専任者はいないが、関係部局が組織横断で対応している |
| 4. 独立した専任部門やIR専任者はいないが、必要に応じて関係する者が対応している |

選択してください

(Q 2-①で「1.独立した専任部門が担当している」「2.独立した専任部門はないが、IR専任者を置いている」とお答えの方へ)

Q 2-②. 独立した専任部門や、IR専任者が置かれた部門とは以下のどれに当てはまりますか。

(1つの番号を選択)

- | | |
|---|---------------|
| 1. 独立したIR専任部門
(IR部、部内のIR室・課、社長直属のIR部門など) | 5. 財務部門 |
| 2. 企画、経営企画などの部門 | 6. 経理部門 |
| 3. 広報部門 | 7. 総務部門 |
| 4. コーポレートコミュニケーション部門 | 8. 上記以外の部門 |
| | 9. その他 (具体的に) |

選択してください

9. その他 (具体的に :

Q 2-③. IR担当部門長 (IR専任部門がない場合は、IR専任者が所属する部門の部門長) はどのような役職につかれていますか。

(いくつでも番号を選択)

- | |
|----------------|
| 1. 課長・次長クラス |
| 2. 室長・部長クラス |
| 3. 事業部長・本部長クラス |
| 4. 執行役または執行役員 |
| 5. 取締役 |
| 6. その他 |

Q 2-④. IR担当部門長 (IR専任部門がない場合は、IR専任者が所属する部門の部門長) の経験者は、その後どのような役職につかれていますか。

(いくつでも番号を選択)

- | |
|----------------|
| 1. 課長・次長クラス |
| 2. 室長・部長クラス |
| 3. 事業部長・本部長クラス |
| 4. 執行役または執行役員 |
| 5. 取締役 |
| 6. 代表取締役 |
| 7. その他 |

(Q2-①にお答えのすべての方へ)

Q2-⑤. IR担当部門（IR専任部門がない場合は、IR専任者・IR兼任者が所属する部門）の社内での権限や立場はどのようになっていますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 社内の各部門の情報を集約し、責任をもって開示できる立場にある
<input type="checkbox"/>	2. 取締役会や経営会議などに陪席し、社内情報を共有したり、株主・投資家の意見を説明する立場にある
<input type="checkbox"/>	3. 社外取締役や監査役に、株主・投資家の意見や資本市場の状況を報告している
<input type="checkbox"/>	4. 社内から収集した情報をチェックする機能・権限がある (情報の内容や根拠について質問・説明・修正などを求める権限)
<input type="checkbox"/>	5. 事業説明会、ESG説明会、事業所見学会などの社内横断的な各種IRイベントを企画・実施できる立場にある
<input type="checkbox"/>	6. その他

Q2-⑥. IR専任者、IR兼任者はそれぞれ何名位おられますか。

(それぞれ1つの番号を選択)

1. 1人	3. 3人	5. 5人以上
2. 2人	4. 4人	6. いない

専任者数:

兼任者数:

Q2-⑦. 1年前と比較したIR専任者、IR兼任者それぞれの増減をお答えください。

(それぞれ1つの番号を選択)

1. 増えた	3. 減った
2. 変わらない	

専任者:

兼任者:

Q2-⑧. IR専任者、IR兼任者の平均実務経験はそれぞれ何年位ですか。

(それぞれ1つの番号を選択)

1. 1年未満	4. 5～7年未満
2. 1～3年未満	5. 7～10年未満
3. 3～5年未満	6. 10年以上

専任者:

兼任者:

Q2-⑨. IR専任者、IR兼任者は外部からの採用がありますか。

(1つの番号を選択)

1. ある	2. ない (→Q2-⑩へ)
-------	----------------

(Q2-⑨で「1.ある」とお答えの方へ)

Q2-⑩. 前職の業種として当てはまるものは何ですか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 証券会社	<input type="checkbox"/>	2. 銀行	<input type="checkbox"/>	3. コンサルティング会社	<input type="checkbox"/>	4. IR支援会社
<input type="checkbox"/>	5. 広報支援会社	<input type="checkbox"/>	6. 1～2以外の金融法人	<input type="checkbox"/>	7. 3～5以外の事業会社	<input type="checkbox"/>	8. その他 (具体的に:

Q2-⑪. 金融法人や事業会社などから採用したIR専任者、IR兼任者の過去の所属・経験で当てはまるものは以下の項目にありますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. セルサイドアナリスト・ストラテジスト	<input type="checkbox"/>	3. ファンドマネージャー	<input type="checkbox"/>	5. IR・広報部門
<input type="checkbox"/>	2. バイサイドアナリスト・ストラテジスト	<input type="checkbox"/>	4. 責任投資部門	<input type="checkbox"/>	6. その他

(Q2-①にお答えのすべての方へ)

Q2-⑫. IR専任者、IR兼任者の教育・研修はどのように行っていますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 投資家面談への同席、各種IRイベントの企画・準備への参画、IRツール制作など実務経験を積ませる
<input type="checkbox"/>	2. 日本IR協議会のセミナーなど、外部の研修活動への参加を奨励している
<input type="checkbox"/>	3. 「日本証券アナリスト協会認定アナリスト」などの資格取得を奨励している
<input type="checkbox"/>	4. 自社製品や業界動向についての知識習得を奨励している
<input type="checkbox"/>	5. その他

Q3. 貴社ではIR担当と明確に定めた役員などを置いていますか。

(1つの番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 社長またはCEOに該当する経営者が担当
<input type="checkbox"/>	2. CFOが担当
<input type="checkbox"/>	3. 取締役（CEO、CFO以外）が担当
<input type="checkbox"/>	4. 執行役または執行役員が担当
<input type="checkbox"/>	5. 役員などの担当は置いていない

選択してください

Q4-①. 貴社では株主・投資家などからの意見を社内へ報告する仕組みを設けていますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 経営トップに定期的に直接報告する機会を設けている
<input type="checkbox"/>	2. 取締役会や経営会議などで、IR担当役員やIR担当者が報告する機会を設けている
<input type="checkbox"/>	3. レポート形式にして定期的に関係者へ電子メールなどで送付している
<input type="checkbox"/>	4. IRに関する社内研修や勉強会、報告会などを行っている
<input type="checkbox"/>	5. 社内報、イントラネットなどにIRに関するページを設けている
<input type="checkbox"/>	6. その他
<input type="checkbox"/>	7. 特に設けていない

(Q4-①で「1」～「6」のお答えをされた方へ)

Q4-②. 社内へ報告する内容とはどのようなものですか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 株主・投資家などとのミーティング報告	<input type="checkbox"/>	5. IRで得られた情報のフィードバック
<input type="checkbox"/>	2. 株主・投資家の経営計画に対するコメント	<input type="checkbox"/>	6. 株価変動の理由や背景、資本市場の状況など
<input type="checkbox"/>	3. アナリストレポートの内容や背景	<input type="checkbox"/>	7. コーポレートガバナンスに対する外部評価
<input type="checkbox"/>	4. 他社との比較	<input type="checkbox"/>	8. その他

Q5-①. 社内のIR関連情報を収集するため、関連部門との会合を年に何回位開いていますか。

(1つの番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 1～2回	<input type="checkbox"/>	2. 3～4回	<input type="checkbox"/>	3. 5～9回
<input type="checkbox"/>	4. 10～14回	<input type="checkbox"/>	5. 15回以上	<input type="checkbox"/>	6. 定期的な会合は開いていない

選択してください

Q5-②. 社内のIR関連情報を収集する際に、対象とする部門は以下のどれになりますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 営業部門	<input type="checkbox"/>	7. 経理部門
<input type="checkbox"/>	2. 製造部門	<input type="checkbox"/>	8. 総務部門
<input type="checkbox"/>	3. 企画、経営企画などの部門	<input type="checkbox"/>	9. 研究・開発・知的財産管理部門
<input type="checkbox"/>	4. 広報部門	<input type="checkbox"/>	10. サステナビリティ部門
<input type="checkbox"/>	5. コーポレートコミュニケーション部門	<input type="checkbox"/>	11. 関係会社、親会社など
<input type="checkbox"/>	6. 財務部門	<input type="checkbox"/>	12. その他

スチュワードシップ・コードやコーポレートガバナンス・コードを意識した取り組み及び株主総会について

〔貴社における、スチュワードシップ・コード（以下SSコード）や、コーポレートガバナンス・コード（以下CGコード）を意識した取り組みに関して伺います。〕

Q6. 昨年はCGコードが再改訂（2021年6月11日）され、東京証券取引所の市場区分見直し（2022年4月4日）では、各市場区分のコンセプトに応じて、コーポレート・ガバナンスなどに係る定量的・定性的な上場基準がそれぞれ設けられます。貴社において持続可能な成長を目的とした機関投資家との対話は、それ以前と比べ全般的に促進されましたか。

（1つの番号を選択）

1. 大いに促進された
2. 促進された
3. エンゲージメント（目的を持った建設的な対話）には形式的なものも含まれるが、やや促進された
4. エンゲージメント（同上）には形式的なものが多く、実質的な変化はない
5. 現時点で変化はない
6. わからない

選択してください

Q7. 以下のCGコード再改訂の主なポイントに対する貴社の対応についてお答えください。それぞれの解答欄に、下記の選択肢から、A～Fの記号をご選択ください。

（選択肢）

- A. 実施している
- B. 実施しているが実効性の面で改善の余地がある
- C. 実施する予定がある
- D. 実施することを検討している。
- E. 実施しないことを決定し、その理由を説明している（または説明する予定である）
- F. 実施対象に該当しないため、対応しない

（それぞれ1つの記号を選択）

取締役会の機能発揮	1. プライム市場上場企業において、独立社外取締役を少なくとも3分の1以上、その他の市場の上場会社においては2名以上の選任	選択してください
	2. 指名委員会・報酬委員会の設置（プライム市場上場企業は、独立社外取締役を委員会の過半数選任）	選択してください
	3. 経営戦略に照らして取締役会が備えるべきスキル（知識・経験・能力）と、各取締役のスキルとの対応関係の公表	選択してください
	4. 他社での経営経験を有する経営人材の独立社外取締役への選任	選択してください
企業の中核人材における多様性の確保	5. 管理職における多様性の確保（女性・外国人・中途採用者の登用）についての考え方と測定可能な自主目標の設定	選択してください
	6. 多様性の確保に向けた人材育成方針・社内環境整備方針をその実施状況とあわせて公表	選択してください
サステナビリティを巡る課題への取り組み	7. サステナビリティについて基本的な方針を策定し自社の取組みを開示	選択してください
	8. プライム市場上場企業において、TCFDまたはそれと同等の国際的枠組みに基づく気候変動開示の質と量を充実	選択してください
上記以外の主な課題	9. プライム市場に上場する「子会社」において、独立社外取締役を過半数選任または利益相反管理のための委員会の設置	選択してください
	10. プライム市場上場会社において、議決権電子行使プラットフォーム利用の促進	選択してください
	11. プライム市場上場会社において、英文開示の促進	選択してください
その他	12. 取締役会の構成におけるジェンダーや国際性、職歴、年齢の面における多様性の確保	選択してください
	13. 社外取締役と株主との面談の実施	選択してください
	14. 事業ポートフォリオに関する基本的な方針や事業ポートフォリオの見直しの状況の開示	選択してください
	15. 内部監査部門が取締役会及び監査役会に対して直接報告を行う仕組みの構築	選択してください

Q 8. 一連のいわゆる「コーポレートガバナンス改革（SSコード、CGコード、伊藤レポートなどの導入）」を踏まえ、貴社が取り組むべき課題と考える事項をお挙げください。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 外部（投資家、資本市場など）の目線を十分に反映させた上で、エンゲージメント（対話）に必要な情報開示の体制や発信する内容を、社内ですべて十分に検討すること
<input type="checkbox"/>	2. SSコードやCGコードで求められている「対話」において、インサイダー取引規制や公平性の原則に抵触しないようにするため、何をどこまで話すべきかの明確な基準を設定すること
<input type="checkbox"/>	3. 非財務情報（CSRやESGなど）が、中長期的な企業価値向上に貢献する仕組みを明確に説明すること
<input type="checkbox"/>	4. 資本コストを意識したROEの水準と、企業価値向上のロードマップを整合的に説明すること
<input type="checkbox"/>	5. 取締役会の構成や運営をより適正化すること (例：経営者の後継者育成計画への関与、取締役報酬制度の設計、各種委員会の設置、取締役会評価、連絡・情報提供体制、トレーニング、独立社外取締役だけの会合など)
<input type="checkbox"/>	6. 独立社外取締役の選任をより適正化すること (例：親会社など多数株主の意向に左右されないこと、十分な人数、適切な経験・能力を持つ人材の選任、多様性の考慮など)
<input type="checkbox"/>	7. 政策保有株式の保有方針を十分に議論すること（例：保有目的や意義の確認、適正な議決権行使など）
<input type="checkbox"/>	8. 少数株主や外国人株主に十分配慮すること (例：個人投資家に分かりやすい言葉・論理で説明、合理的な範囲での英文情報の開示・提供、招集通知の早期発送、議決権行使の電子化や英訳対策、ハイブリッド型バーチャル株主総会の開催など)
<input type="checkbox"/>	9. いまだ親子上場が少なくない中で、上場子会社にとって不利な状況の改善に努めること (例：株式流動性の確保、子会社の少数株主の利益が脅かされる可能性を低くする努力など)
<input type="checkbox"/>	10. 女性活躍推進や国際性向上など、ダイバーシティへの取り組みを強化すること (例：取締役や幹部への女性や外国人登用の推進など)
<input type="checkbox"/>	11. 企業年金のアセットオーナーとしての機能を十分に発揮していくこと (例：企業年金基金の適正な運営、運用委託機関のステューワードシップ活動の確認など)
<input type="checkbox"/>	12. リスクの開示や管理体制を強化すること (例：気候変動リスク、コロナ禍が事業や資金繰りに及ぼすリスクなどの認識と対策の説明など)
<input type="checkbox"/>	13. CG報告書の開示や説明を充実させ、説明（Explain）した項目の遵守（Comply）を徹底していく
<input type="checkbox"/>	14. その他 →具体的に

〔産業競争力強化法において、会社法の特例として、「場所の定めのない株主総会」に関する制度が創設され、上場会社において、バーチャルオンリー株主総会の開催が可能となりました。それに関連して株主総会の開催方式について伺います。〕

Q 9-①. 2021年に開催された株主総会は以下のどの方式でしたか。

(1つの番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. リアル株主総会 (取締役や株主等が一堂に会する物理的な場所において開催される株主総会)
<input type="checkbox"/>	2. ハイブリッド参加型バーチャル株主総会 (リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の開催場所に在所しない株主が、株主総会へ法律上の「出席」を伴わずに、インターネット等の手段を用いて審議等を確認・傍聴することができる株主総会)
<input type="checkbox"/>	3. ハイブリッド出席型バーチャル株主総会 (リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の場所に在所しない株主が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をすることができる株主総会)
<input type="checkbox"/>	4. バーチャルオンリー型株主総会 (リアル株主総会を開催することなく、取締役や株主等が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をする株主総会)

選択してください

Q9-②. 2022年に開催または開催を予定している株主総会は以下のどの方式ですか。

(1つの番号を選択)

- | |
|--|
| 1. リアル株主総会
(取締役や株主等が一堂に会する物理的な場所において開催される株主総会) |
| 2. ハイブリッド参加型バーチャル株主総会
(リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の開催場所に在所しない株主が、株主総会へ法律上の「出席」を伴わずに、インターネット等の手段を用いて審議等を確認・傍聴することができる株主総会) |
| 3. ハイブリッド出席型バーチャル株主総会
(リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の場所に在所しない株主が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をすることができる株主総会) |
| 4. バーチャルオンリー型株主総会
(リアル株主総会を開催することなく、取締役や株主等が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をする株主総会) |
| 5. 未定 |
| 6. その他 →具体的に |

選択してください

Q9-③. 2023年以降に開催を予定している株主総会は以下のどの方式ですか。

(1つの番号を選択)

- | |
|--|
| 1. リアル株主総会
(取締役や株主等が一堂に会する物理的な場所において開催される株主総会) |
| 2. ハイブリッド参加型バーチャル株主総会
(リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の開催場所に在所しない株主が、株主総会へ法律上の「出席」を伴わずに、インターネット等の手段を用いて審議等を確認・傍聴することができる株主総会) |
| 3. ハイブリッド出席型バーチャル株主総会
(リアル株主総会の開催に加え、リアル株主総会の場所に在所しない株主が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をすることができる株主総会) |
| 4. バーチャルオンリー型株主総会
(リアル株主総会を開催することなく、取締役や株主等が、インターネット等の手段を用いて、株主総会に会社法上の「出席」をする株主総会) |
| 5. 未定 |
| 6. その他 →具体的に |

選択してください

非財務情報開示、ESG投資への対応

Q10-①. 貴社ではIR活動と連動させて、ESGなどの非財務情報の開示を実施されていますか。

(1つの番号を選択)

- 1. 実施している
- 2. どちらともいえない
- 3. 実施していない

選択してください

(Q10-①で「1.実施している」「2.どちらともいえない」とお答えの方へ)

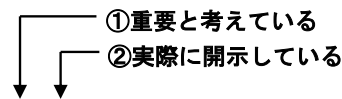
Q10-②. 貴社では、ウェブサイト、アニュアルレポート・統合報告書や説明会などにおいて、どのようにESGなどの非財務情報を開示されておられるのか、具体的な取り組みをお伺いします。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. ESGに関する考え方を示し、中長期の経営戦略と絡めて投資家が理解しやすい情報を開示している |
| <input type="checkbox"/> | 2. ESGに関するデータを整理し、投資家が活用しやすい資料集を作成している |
| <input type="checkbox"/> | 3. SDGsなどに紐づけて重視する領域（マテリアリティ）を特定し、それを経営戦略に組み込んだうえ、企業価値向上にどうつなげるかを説明している |
| <input type="checkbox"/> | 4. 非財務情報(含むESG情報)を、中長期的な経営戦略のKPI(成果指標)と結び付けて説明している |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 →具体的に |

Q11-①. どのような内容の非財務情報(含むESG情報)の開示が重要とお考えですか。

Q11-②. またそれらのうち、実際に開示されているものはどの項目ですか。



(いくつでも番号を選択)

- | | | |
|--------------------------|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 1. 企業理念、経営ビジョン |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 2. ビジネスモデル
(例: 付加価値を生み出す収益構造やドライバー、競争優位性の源泉となる経営資源や無形資産など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 3. 持続的な成長に向けた取り組み
(例: ESGに対する認識や、主要なステークホルダーとの関係構築など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 4. リスクの認識とそのマネジメント
(例: 現状から事業環境が急変するリスクの認識と、想定している対応など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 5. 事業戦略の強化
(例: SDGsの意識や社会との関係構築、研究開発、人材、知的資本への投資とその進捗など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 6. 創造した企業価値を自己評価する仕組み
(例: 企業独自のKPI:重要業績管理指標や、中長期の経営戦略・経営計画の効果測定指標の設定など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 7. コーポレートガバナンスによる規律づけ
(例: ガバナンスの仕組みや執行のモニタリング、取締役の実効性評価など) |
| <input type="checkbox"/> | <input type="checkbox"/> | 8. その他→具体的に |
| | <input type="checkbox"/> | ①重要 |
| | <input type="checkbox"/> | ②開示 |

(注) SDGsとは

「Sustainable Development Goals」の略。国際社会が持続可能な発展のために2030年までに達成すべき目標で、国連総会が2015年に採択した。気候変動や水保全など環境対策のほか、貧困や飢餓の撲滅、ジェンダー(性)の平等など17の目標とそれを具体化した169のターゲットで構成される。

Q12. 貴社では、非財務情報(含むESG情報)を活用して、どのように対話を進めておられるのか、具体的な取り組みについてお聞かせください。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. ESGをテーマにした説明会やミーティングを開き、関連部門の責任者が説明し、対話している |
| <input type="checkbox"/> | 2. ESGを評価軸にするファンドの取材や、指数組成会社からのアンケートなどに対応している |
| <input type="checkbox"/> | 3. ESGを評価軸にするファンドや有識者と対話し、中長期的な経営戦略などに活かしている |
| <input type="checkbox"/> | 4. ESGの情報開示に関するガイドライン、価値創造ガイダンスなどを活用して対話を進めている |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 →具体的に |
| <input type="checkbox"/> | 6. 特に、非財務情報を活用した対話について取り組みは実施していない |

(注) ESGの情報開示に関するガイドラインとは

一例としては、TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)、IIRC(国際統合報告フレームワーク)、価値協創ガイダンス(企業価値向上に向けて、企業経営者と投資家が対話する手引書として、経済産業省が2017年5月29日に公表)などが挙げられる。

〔近年、投資・運用の分野では「ESG投資」の関心が高まっており、運用機関などが投資対象企業を選ぶ際には、当該企業の「ESG評価」が重要視されるようになりました。こうした状況も踏まえ、一連のESG関連の取り組みを通じて、貴社が意識されている事柄について伺います。〕

Q13. 非財務情報（含むESG情報）の開示や、それに基づく対話などにおいて、貴社が疑問や課題と感じておられる事柄があれば、お聞かせください。

（いくつでも番号を選択）

<input type="checkbox"/>	1. 本業のビジネスと非財務情報（含むESG情報）とを、分かりやすく関連付けること
<input type="checkbox"/>	2. ESG投資の意思決定プロセスが不明瞭なので、企業側がどのようなESG情報を開示すべきか絞りにくい
<input type="checkbox"/>	3. 自社のESGへの取り組みが、環境や社会などへのポジティブな貢献をうたってはいるが、それが中長期的に会社の業績といった経済的な貢献につながる蓋然性について、説得力のある証明を行うこと
<input type="checkbox"/>	4. ESG評価機関が乱立気味で、その手法や評価結果にも統一感があるとはいえない状況から、第三者による公正なESG評価が期待しにくい。これが評価の信頼性や、自社努力のインセンティブを欠く懸念がある
<input type="checkbox"/>	5. 運用機関は、自社に高いESGへの取り組みを期待してくる一方、ESG評価と運用収益（リターン）の関係を証明できていない。これはアセットオーナーとしての企業の立場からも、ESG投資の不信につながる
<input type="checkbox"/>	6. IR部門だけでは対応しきれない内容・量である
<input type="checkbox"/>	7. その他 →具体的に
<input type="checkbox"/>	8. 特に疑問や課題と感じていることはない

（注）ESG投資とは

環境・社会・ガバナンスに代表される非財務情報を利用した投資のことで、経済的リターンと社会的リターン（環境・社会・ガバナンスに対してリスクの低減を含むポジティブな貢献をすること）の双方を追求するものと定義される。2006年に出された「国連責任投資原則（PRI）」がESG投資推進の流れを作ったとされ、世界中で多数の運用機関やアセットオーナーがPRIに賛同している。ESG投資には幾つかの種類があり、ESGの理念に反する業種や企業を投資対象から外す「ネガティブ・スクリーニング」、経済的リターンは二の次に、社会や環境への貢献を重視する「インパクト投資」、投資判断の際に財務情報と非財務情報（含むESG情報）の双方を考慮する「ESGインテグレーション」などが代表的な手法である。

Q14-①. 貴社では非財務情報（含むESG情報）を開示するために、他部門とIR部門が連携して活動されていますか。

（1つの番号を選択）

<input type="checkbox"/>	1. はい（→Q14-②へ）
<input type="checkbox"/>	2. いいえ（→Q15-①へ）

選択してください

（Q14-①で「1. はい」とお答えの方へ）

Q14-②. 連携する部門とはどこですか。

（いくつでも番号を選択）

<input type="checkbox"/>	1. 営業部門	<input type="checkbox"/>	7. 経理部門
<input type="checkbox"/>	2. 製造部門	<input type="checkbox"/>	8. 総務部門
<input type="checkbox"/>	3. 企画、経営企画などの部門	<input type="checkbox"/>	9. 研究・開発・知的財産管理部門
<input type="checkbox"/>	4. 広報部門	<input type="checkbox"/>	10. サステナビリティ部門
<input type="checkbox"/>	5. コーポレートコミュニケーション部門	<input type="checkbox"/>	11. 関係会社、親会社など
<input type="checkbox"/>	6. 財務部門	<input type="checkbox"/>	12. その他

オンラインや電子媒体を利用したIR活動について

Q15-①. 貴社には「投資家向け」または「IR」と明示されたウェブサイトがありますか。

(1つの番号を選択)

1. ある	2. ない (→Q16へ)
-------	---------------

選択してください

(Q15-①で「1. ある」とお答えの方へ)

Q15-②. そのウェブサイトは、スマートフォンやタブレット端末に対応していますか。

(1つの番号を選択)

1. 対応している	2. 対応していない
-----------	------------

選択してください

Q15-③. SNSをIRに活用していますか。活用している場合は下段に具体例をお書きください。

(1つの番号を選択)

1. 活用している	2. 活用していない
-----------	------------

選択してください

具体例	
-----	--

Q15-④. 貴社のIRサイトにおいて、開示しているIR情報とは何ですか。以下の中からA.日本語で掲載しているもの、B.英語で掲載しているものを、それぞれいくつでもお答えください。

A B
日 英
本 語
語 語
↓ ↓

(いくつでも番号を選択)

経営戦略・ 経営理念	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. 経営トップのメッセージ
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. トップインタビュー
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. 中長経営計画
情報開示・ コーポ レート ガバナンス	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. ディスクロージャーポリシー
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. コーポレートガバナンス (例：コーポレートガバナンス報告書、独立社外取締役の選解任を含む取締役・監査役会の機能、政策保有株に関する方針、後継経営者に関する方針、経営陣と取締役の報酬制度などに関連する情報の準備や質問への回答など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. ESGを含む非財務情報
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 財務戦略に関する情報 (例：ROE<株主資本利益率>、ROIC<投下資本利益率>、EVA、資本コスト、資金調達方針、株主還元方針などを、KPI<成果指標>も交えて発表)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. リスクに関する説明
企業情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 個人情報の取り扱い方針
IR情報・ 財務情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. ニュースリリース
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 有価証券報告書などの法定開示資料
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. 決算短信
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 説明資料 (決算説明資料、事業説明会資料など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. 決算短信補足資料
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. 株主向け報告書・株主通信 (旧事業報告書)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. 統合報告書、アニュアルレポート
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. サステナビリティ報告書 (CSR報告書、あるいはそれに代替するもの)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. ファクトブック
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. インバスターズガイド
株式・株主 総会情報	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. IRカレンダー (説明会などの予定通知)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. その他の財務情報 (月次情報など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 株価情報
問合せ関連	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. よくある質問への回答 (FAQ)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24. 株主総会の公開 (招集通知、議案、質疑応答、資料など)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	25. 議案の決議結果と賛否・棄権の割合
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	26. IR部門の問い合わせ先 (eメールアドレスなど)
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	27. eメールによる説明会などの開催通知と申込受付
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	28. RSS (ウェブサイトの新着情報を配信するフォーマット) による情報提供
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	29. 投資家向けメールマガジンの発行
	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	30. その他
		A日本語	
		B英語	

Q16. 貴社のIR活動において、**A. オンラインで実施しているもの**、
 または、**B. ウェブ上で開示（テキスト、音声、動画など）**しているものは何ですか。
 以下の中からお答えください。

A. オンラインで実施している

B. ウェブ上で開示している（テキスト、音声、動画など）

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 国内向け決算説明会	
<input type="checkbox"/>	2. 国内向け経営方針・経営戦略・経営計画説明会	
<input type="checkbox"/>	3. 国内向け個人投資家向け説明会	
<input type="checkbox"/>	4. 海外向け説明会（決算・経営戦略など）	
<input type="checkbox"/>	5. 国内のアナリスト・投資家との面談	
<input type="checkbox"/>	6. 海外のアナリスト・投資家との面談	
<input type="checkbox"/>	7. スモールミーティング	
<input type="checkbox"/>	8. 事業説明会、E S G説明会、I R D a y等の説明会	
<input type="checkbox"/>	9. 工場見学会・事業所見学会	
<input type="checkbox"/>	10. その他→具体的に	
	Aオンライン実施	<input type="checkbox"/>
	Bウェブ上で開示	<input type="checkbox"/>

IR活動の効果測定について

Q 17-①. 貴社ではどのような指標でIR活動の効果測定を行っていますか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. アナリスト、投資家との面談回数の増減	<input type="checkbox"/>	8. 株主構成
<input type="checkbox"/>	2. アナリストレポートの数や品質	<input type="checkbox"/>	9. 議決権の行使率、議案への賛成比率
<input type="checkbox"/>	3. アナリストカバー数	<input type="checkbox"/>	10. 報道機関の記事内容
<input type="checkbox"/>	4. 株式の売買高	<input type="checkbox"/>	11. 投資家向けアンケート結果
<input type="checkbox"/>	5. 時価総額	<input type="checkbox"/>	12. 経営トップや社内のIR活動への理解度合い
<input type="checkbox"/>	6. 株主・投資家からの問い合わせ回数	<input type="checkbox"/>	13. 第三者機関による評価結果(IR優良企業賞など)
<input type="checkbox"/>	7. ウェブサイトへのアクセス数		
<input type="checkbox"/>	14. その他 →具体的に		
<input type="checkbox"/>	15. 特に効果測定を行っていない		

(Q 17-①で「8. 株主構成」とお答えの方へ)

Q 17-②. 「株主構成」に関する貴社の目標として、最も当てはまるものはどれですか。

(1つの番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 現状維持
<input type="checkbox"/>	2. 国内機関投資家、海外機関投資家、個人投資家の保有比率が概ね均等
<input type="checkbox"/>	3. 国内機関投資家の株式保有比率向上
<input type="checkbox"/>	4. 海外機関投資家の株式保有比率向上
<input type="checkbox"/>	5. 個人投資家の株式保有比率向上
<input type="checkbox"/>	6. 長期保有投資家の株式保有比率向上(インデックス運用投資家を含む)
<input type="checkbox"/>	7. 状況によって適宜見直しを行う
<input type="checkbox"/>	8. その他 →具体的に
<input type="checkbox"/>	9. 特に決まった目標はない

選択してください

Q 17-③. 貴社は長期保有投資家の株式保有状況も踏まえて「安定株主比率」を意識しておられますか。

(1つの番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 意識している	<input type="checkbox"/>	3. どちらとも言えない
<input type="checkbox"/>	2. 意識していない		

選択してください

(Q 17-③で「1. 意識している」または「3. どちらとも言えない」とお答えの方へ)

Q 17-④. 貴社が「安定株主」とみなしている対象は、以下のうちどれですか。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 創業家の持株	<input type="checkbox"/>	4. 取引先金融機関の持株(銀行、保険など)
<input type="checkbox"/>	2. 従業員持株会	<input type="checkbox"/>	5. 政策保有株式(金融機関を除く)
<input type="checkbox"/>	3. 取引先持株会	<input type="checkbox"/>	6. 長期保有投資家の持株(インデックス運用投資家を含む)
<input type="checkbox"/>	7. その他 →具体的に		

Q 17-⑤. Q 17-④で示した貴社の定義に従うと、現状の「安定株主比率」はどの程度ですか。また目標とされる水準があればお答えください。

(それぞれ1つの番号を記入)

<input type="checkbox"/>	1. 20%未満	<input type="checkbox"/>	3. 30%台	<input type="checkbox"/>	5. 50%台
<input type="checkbox"/>	2. 20%台	<input type="checkbox"/>	4. 40%台	<input type="checkbox"/>	6. 60%以上
<input type="checkbox"/>	7. 特に目標はない				

現状→

選択してください

目標→

選択してください

(Q 17-①で「15. 特に効果測定を行っていない」とお答えの方へ)

Q 17-⑥. 効果測定を行っていない理由をお答えください。

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	1. 有効な効果測定の方法が分からない	<input type="checkbox"/>	3. IR活動は会社の義務であり効果測定の必要はない
<input type="checkbox"/>	2. 効果測定のための指標を特定するのが難しい	<input type="checkbox"/>	4. 自社のIR活動は効果測定をする段階には至っていない
<input type="checkbox"/>	5. その他 →具体的に		

東京証券取引所の市場区分見直しへの対応について

〔東京証券取引所は、従来の市場区分を見直し、2022年4月4日から、市場区分を「プライム市場」、「スタンダード市場」、「グロース市場」の3つの新しい市場区分に再編します。それに伴う対応について伺います〕

Q18-①. 貴社は東京証券取引所に上場していますか。

(1つの番号を選択)

- | |
|----------------------|
| 1. 上場している |
| 2. 上場していない (→Q19-①へ) |

選択してください

(Q18-①で「1. 上場している」とお答えの方へ)

Q18-②. 貴社の新市場区分での選択結果は以下のうちどれにあてはまりますか。

(1つの番号を選択)

- | |
|--------------------------|
| 1. 市場第一部→プライム市場 |
| 2. 市場第一部→スタンダード市場 |
| 3. 市場第二部→スタンダード市場 |
| 4. JASDAQスタンダード→スタンダード市場 |
| 5. JASDAQグロース→グロース市場 |
| 6. マザーズ→スタンダード市場 |
| 7. マザーズ→グロース市場 |
| 8. その他 →具体的に |

選択してください

Q18-③. 新市場区分の上場基準(上場維持基準)に対し、重点的に取り組んだ項目または今後も取り組みが必要とお考えの項目をお挙げください。

(いくつでも番号を選択)

流動性	<input type="checkbox"/> 1. 株主数 (プライム市場：800人以上、スタンダード市場：400人以上、グロース市場：150人以上)
	<input type="checkbox"/> 2. 流通株式数 (プライム市場：20,000単位以上、スタンダード市場：2,000単位以上、グロース市場：1,000単位以上)
	<input type="checkbox"/> 3. 流通株式時価総額 (プライム市場：100億円以上、スタンダード市場：10億円以上、グロース市場：5億円以上)
	<input type="checkbox"/> 4. 売買代金(プライム市場)、売買高(スタンダード市場・グロース市場) (プライム市場：平均売買高0.2億円以上、スタンダード市場・グロース市場：月平均10単位以上)
ガバナンス	<input type="checkbox"/> 5. 流通株式比率 (プライム市場：35%以上、スタンダード市場・グロース市場：25%以上)
経営成績 財政状態	<input type="checkbox"/> 6. 純資産額が正であること (プライム市場・スタンダード市場のみ、グロース市場は非適用)

Q18-④. 上記取り組みにあたり、具体的にどのような対応を実施または実施する予定ですか。
(例：流通株式時価総額の増大に向けて〇〇を実施する予定である。)

資本政策・非財務資本・事業ポートフォリオマネジメントについて

Q 1 9-①. 貴社では資本政策を策定していますか。

(1つの番号を選択)

- | | |
|---------------|----------------------|
| 1. 策定し公表している | 3. 策定していない (→Q 2 0へ) |
| 2. 策定しているが非公表 | |

選択してください

(Q 1 9-①で「1. 策定し公表している」または「2. 策定しているが非公表」とお答えの方へ)

Q 1 9-②. 企業価値の向上に向け、貴社ではどのような資本政策を策定していますか。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|---|
| <input type="checkbox"/> | 1. 長期ビジョンや中期経営計画などに基づき、資本効率向上への道筋を、株主・投資家に分かりやすい K P I (成果指標)として説明 |
| <input type="checkbox"/> | 2. 自社の資本コストを算出し、それを上回る収益性の実現に向けての方策を具体的に説明 |
| <input type="checkbox"/> | 3. 中期的な資金調達・配分の方針を表明し、資金調達に関わる施策を実施する場合や、大きな金額が必要な投資やM&Aなどを実施する際には、株主価値を考慮した説明を行う |
| <input type="checkbox"/> | 4. 資金を使う場合の基準を明確にし、手元流動性の妥当な水準についても考えを表明する |
| <input type="checkbox"/> | 5. 利益配分の考え方を示し、配当性向や自社株買いの目的を投資家に説明する |
| <input type="checkbox"/> | 6. D O E (株主資本配当率)や、総還元性向(純利益に対する配当と自社株買いの割合)の目標値を示す |
| <input type="checkbox"/> | 7. その他 |

(Q 1 9-②で「1」を選ばれた方へ)

Q 1 9-③. K P I (成果指標)として、貴社が設定しているものはどれですか。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. R O E (株主資本利益率) |
| <input type="checkbox"/> | 2. R O A (総資産利益率) |
| <input type="checkbox"/> | 3. 売上高営業利益率 |
| <input type="checkbox"/> | 4. E V A、エクイティスプレッド(R O Eから株主資本コストを引いた値)など資本コストを意識した指標 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 売上高、営業利益、経常利益(税前利益)、当期利益のいずれか、またはすべて |
| <input type="checkbox"/> | 6. フリーキャッシュフロー |
| <input type="checkbox"/> | 7. R O I C (投下資本利益率) |
| <input type="checkbox"/> | 8. その他 |

(Q 1 9-③で「2」を選ばれた方へ)

Q 1 9-④. 貴社が資本コストを資本資産評価モデル(CAPM)に基づいて計算されている場合、リスクフリーレート、リスクプレミアム、ベータ値についてはどのような前提を置かれていますか。

(それぞれの数値を記入)

	資本コスト		%
前提	リスクフリーレート		%
	リスクプレミアム		%
	ベータ値		

Q 1 9-⑤. 貴社が資本コストの算出に、CAPM以外の手法を採用されている場合には、計算方法などをお書きください。

(計算式や前提数値などを入力してください)

--

Q20. 貴社では「パーパス」（企業の存在意義、志）を策定していますか。

（1つの番号を選択）

1. 策定し公表している
2. 策定しているが非公表
3. 現在、策定中
4. これから策定する予定
5. 特に定めるつもりはない
6. その他 →具体的に

選択してください

Q21-①. 貴社では「中期経営計画」や「長期ビジョン」を策定されていますか。

中期経営計画

（1つの番号を選択）

1. 策定し公表している
2. 策定しているが非公表
3. 策定していない
4. その他

選択してください

4. その他（具体的に：

長期ビジョン

（1つの番号を選択）

1. 策定し公表している
2. 策定しているが非公表
3. 策定していない
4. その他

選択してください

4. その他（具体的に：

（Q21-①でそれぞれ「1. 策定し公表している」または「2. 策定しているが非公表」とお答えの方へ）

Q21-②. 策定されている「中期経営計画」や「長期ビジョン」の期間をお伺いします。

中期経営計画

（1つの番号を選択）

1. 3年間
2. 5年間
3. それ以外
4. 特に定めていない

選択してください

長期ビジョン

（1つの番号を選択）

1. 5～10年間
2. 10～15年間
3. 15～20年間
4. 20年超
5. 特に定めていない

選択してください

Q21-③. 貴社では「中期経営計画」や「長期ビジョン」の策定および更新に当たり、アナリストや投資家の意見を参考にされていますか。

（1つの番号を選択）

1. 参考にしている
2. 参考にしていない

選択してください

Q22-①. 貴社は中長期戦略において、非財務資本関連のKPI（成果指標）を設定していますか。

（1つの番号を選択）

1. 策定し公表している
2. 策定しているが非公表
3. 策定していない

選択してください

（Q22-①で「1. 策定し公表している」または「2. 策定しているが非公表」とお答えの方へ）

Q22-②. 貴社が非財務資本関連のKPI（成果指標）として設定している内容を簡単にご記入ください。

※半角カタカナはご使用しないでください（データ集計時に文字化けする恐れがあります）
※数字やアルファベットは半角・全角問いません

Q 2 3-①. 貴社では事業ポートフォリオに関する基本的な方針を策定していますか。

(1つの番号を選択)

- | | |
|---------------|------------|
| 1. 策定し公表している | 3. 策定していない |
| 2. 策定しているが非公表 | |

選択してください

Q 2 3-②. 貴社では事業ポートフォリオの見直しを行っていますか。

(1つの番号を選択)

- | | |
|--------------------|-----------|
| 1. 行っており、内容も公表している | 3. 行っていない |
| 2. 行っているが、内容は非公表 | |

選択してください

I R支援会社の利用について

Q 2 4-①. 貴社では I R活動を推進するために I R支援会社を利用していますか。

(1つの番号を選択)

1. 利用している

2. 利用していない

選択してください

Q 2 4-②. 現在利用中のサービスと今後利用していきたいサービスをそれぞれお選びください。

現在	今後
↓	↓

(いくつでも番号を選択)

<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	1. アニュアルレポート・統合報告書の作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	2. インベスターズガイドの作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	3. ファクトブックの作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	4. 説明会資料の作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	5. E S G 開示資料の作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	6. 1～5以外の I R 資料の作成
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	7. 会社説明会全般のサポート
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	8. ガバナンスに関するサポート
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	9. 株主判明調査
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	10. 投資家ターゲティング
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	11. 認識調査(パーセプションスタディ)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	12. I R 広告の制作・掲載
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	13. 中期経営計画・経営戦略のアドバイス
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	14. アナリスト、機関投資家の動向分析
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	15. アナリストレポートの提供
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	16. アンケート調査などによる個人投資家の動向分析
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	17. 株主総会への議決権行使支援プログラム
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	18. 開示資料の英文化
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	19. 海外 I R 活動のサポート
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	20. I R サイト構築サポート
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	21. I R 人材教育
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	22. 持続的なサポート(年間契約など)
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	23. その他→具体的に
	現在	
	今後	
<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	24. 利用していない/今後利用したくない

(Q 2 4-②で「1」「7」「9」「11」「19」を利用しているとお答えの方へ)

Q 2 4-③. 貴社は直近 1 年間で、これらのサービスにどのくらいの費用をかけてきましたか。それぞれの解答欄に、下記の「費用区分」から、A～Kの記号をご記入ください。

(それぞれ 1 つの記号を選択)

1. アニュアルレポート・統合報告書の作成	選択してください
7. 会社説明会全般のサポート	選択してください
9. 株主判明調査	選択してください
11. 認識調査(パーセプションスタディ)	選択してください
19. 海外 I R 活動のサポート	選択してください

費用区分

A. 費用はかけていない	E. 200～300万円未満	I. 2,000～5,000万円未満
B. 50万円未満	F. 300～500万円未満	J. 5,000～1億円未満
C. 50～100万円未満	G. 500～1,000万円未満	K. 1億円以上
D. 100～200万円未満	H. 1,000～2,000万円未満	

日本IR協議会について

〔全員の方へ〕

Q25-①. 今までに日本IR協議会の事業に参加、またはサービスを利用したことがありますか。

(1つの番号を選択)

1. ある 2. ない

選択してください

(Q25-①で「1.ある」とお答えの方へ)

Q25-②. 参加した事業、あるいは利用したサービスは何ですか。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|--|
| <input type="checkbox"/> | 1. IRカンファレンス (例年12月に年一回実施) |
| <input type="checkbox"/> | 2. IR基礎講座、IR優良企業講座、IR専門講座、IR実務英語セミナー |
| <input type="checkbox"/> | 3. IRサークル |
| <input type="checkbox"/> | 4. 「名古屋部会」「関西部会」「九州部会」「中小型株企業部会」など部会活動 |
| <input type="checkbox"/> | 5. 上記以外のセミナー (新潮流セミナーなど) |
| <input type="checkbox"/> | 6. IRコンサルティング (IR優良企業賞審査結果を基にした意見交換) |
| <input type="checkbox"/> | 7. 日本IR協議会のホームページ上のコンテンツ |
| <input type="checkbox"/> | 8. その他 |

〔日本IR協議会の非会員の方へ〕

Q26. 日本IR協議会に入会を検討する場合、入会目的は何ですか。

(いくつでも番号を選択)

- | | |
|--------------------------|------------------------|
| <input type="checkbox"/> | 1. 社外のネットワーク構築 |
| <input type="checkbox"/> | 2. IR担当者のスキルアップ |
| <input type="checkbox"/> | 3. IRに関する情報収集 |
| <input type="checkbox"/> | 4. IR優良企業賞への応募と審査結果の活用 |
| <input type="checkbox"/> | 5. その他 |

〔全員の方へ〕

Q27. 今後、日本IR協議会の事業としてどのようなことを望みますか。具体的にご記入ください。

※半角カタカナはご使用しないでください (データ集計時に文字化けする恐れがあります)

※数字やアルファベットは半角・全角問いません

--

【全員の方へ】貴社のプロフィールについて

貴社プロフィールについては、必ず全ての設問にご回答ください。

F1. 貴社の業種は以下のどれにあてはまりますか。

(1つの番号を選択)

1. 農林・水産・鉱業	12. 非鉄金属	23. 証券
2. 建設	13. 金属製品	24. 損害保険
3. 食品	14. 機械	25. 不動産
4. 繊維	15. 電機	26. 陸運・海運・空運
5. パルプ・紙	16. 輸送用機器	27. 倉庫
6. 化学	17. 精密機器	28. 通信
7. 薬品	18. その他製造業	29. 電力・ガス
8. 石油	19. 卸売業	30. サービス業 (具体的に)
9. ゴム製品	20. 小売業	31. その他 (具体的に)
10. 窯業	21. 銀行	
11. 鉄鋼	22. その他金融機関	

選択してください

30, 31. (具体的に:)

F2. 貴社の直近決算期末の連結ベースの従業員数は、以下のどれにあてはまりますか。
連結子会社がない場合は、単独ベースとしてお答えください。

(1つの番号を選択)

1. 500人未満	4. 3,000～5,000人未満
2. 500～1,000人未満	5. 5,000～1万人未満
3. 1,000～3,000人未満	6. 1万人以上 (具体的に)

選択してください

6. 1万人以上 (具体的に)

万人

F3. 貴社の直近決算期の連結売上高は、以下のどれにあてはまりますか。
連結子会社がない場合は、単独ベースとしてお答えください。

(1つの番号を選択)

1. 100億円未満	5. 3,000～5,000億円未満
2. 100～500億円未満	6. 5,000億～1兆円未満
3. 500～1,000億円未満	7. 1兆円以上 (具体的に)
4. 1,000～3,000億円未満	

選択してください

7. 1兆円以上 (具体的に)

兆円

F4. (2022年4月3日まで) 貴社の株式を公開している (公開していた) 市場は、
以下のどれにあてはまりますか。

(いくつでも番号を選択)

1. 東京証券取引所第1部	6. TOKYO Pro market	11. 札幌証券取引所
2. 東京証券取引所第2部	7. 名古屋証券取引所第1部	12. ニューヨーク証券取引所
3. マザーズ	8. 名古屋証券取引所第2部	13. ロンドン証券取引所
4. JASDAQスタンダード	9. 名古屋証券取引所セントレックス	14. その他
5. JASDAQグロース	10. 福岡証券取引所	

F5. (2022年4月4日から) 貴社が株式を公開を予定している (公開している) 市場は、
以下のどれにあてはまりますか。

(いくつでも番号を選択)

1. プライム市場	5. 名古屋証券取引所プレミア市場	9. 札幌証券取引所
2. スタンダード市場	6. 名古屋証券取引所メイン市場	10. ニューヨーク証券取引所
3. グロース市場	7. 名古屋証券取引所ネクスト市場	11. ロンドン証券取引所
4. TOKYO Pro market	8. 福岡証券取引所	12. その他

【質問は以上です、ご協力ありがとうございました】

この結果は、統計的に処理し、個々の回答を外部に公表することはありません。
ファイルをデスクトップなどに、一旦保存の上、下記URLへアップロードをお願いいたします。
(アップロードに必要なIDとパスワードは、郵送/メールでお送りしたご挨拶状に記載がございます)

アップロードサイト: <https://brs.nikkei-r.co.jp/ir2022j>

※アップロードが不可能な場合は、調査実施機関の日経リサーチまでご連絡下さい。

※回答内容の追加や訂正がある場合、何度でも再アップロードが可能です。